

平成24年6月25日

平成24年度第1回

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会

議 案

第1号議案 平成23事業年度業務実績報告に対する意見聴取について
・・・P.1～15

第2号議案 平成23年度財務諸表に対する意見聴取について
・・・P.16～42

平成23事業年度における業務実績報告書

平成24年5月

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの概要

1. 現況

(1) 法人名

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

(2) 本部の所在地

千葉県東金市東岩崎1番地1

(3) 設 立：平成22年10月1日法人設立

(4) 役員の状況(平成24年3月31日現在)

理事長：平澤 博之

理 事：石原 照子、原田 修、篠崎 純（非常勤）、横須賀 收（非常勤）、大川 昌権（非常勤）

監 事：白土 英成

(5) 職員数(平成24年3月31日現在)

常勤職員：12 非常勤職員：1

2. 設置・運営予定病院

(1) 病院の概要

病院名：東千葉メディカルセンター（平成24年3月23日病院名変更）

所在地：千葉県東金市丘山台三丁目6番2

開 院：平成26年4月1日開院予定

病床数：314床（救命救急センター（ICU：10床・HCU：10床）、一般294床）（開院時146床）

診療科： 22科

医 師： 56人（開院時 30人 研修医含む。）

看護師：286人（開院時129人）

(2) 基本理念

患者の権利を尊重し、救急医療・急性期医療を核とした地域中核病院として地域住民に信頼される高度で安全な医療を

行います。

(3) 基本方針

- 救命救急センターを併設して24時間、365日の救急医療の提供を行います。
- 高度な専門医療の提供を行い、地域住民の生命と健康を守ります。
- 常に安全・安心の医療を行います。
- 患者の権利を尊重し、常に患者第一の医療提供を行います。
- 医療連携を推進し、地域の患者により良い医療を提供します。
- 地域の中核病院として、地域医療機関と密接な連携を図ります。
- 医療従事者の教育・研修に努め、継続的に地域における医療の質の向上を図ります。
- 千葉大学医学部・同附属病院と密接に連携して診療を行います。
- 健全経営に努めるとともに、生き生きとした職場づくりに努めます。
- 地域の保健・医療に貢献するため、地域中核病院としての役割を担います。

3. 東千葉メディカルセンターの位置づけ

山武長生夷隅保健医療圏の主要疾病（がん、心疾患、脳血管疾患）死亡数は、全県と比較して多い状況だが、その一方で治療に当たる医師や看護師をはじめとする医療従事者数は、全県と比較して少ない状況にある。

山武地域の救急搬送状況（山武郡市消防本部管内）をみると、平成18年から平成22年まで、救急患者の40%前後が圏域外の医療機関に搬送される状況が続いている。

また、本医療圏には救命救急センターが整備されていないため、重篤救急患者は、印旛あるいは香取海匠、安房、千葉圏域などの三次救急医療機関に依存しており、三次救急医療体制の確立が急務となっている。

こうした現状を踏まえ、山武長生夷隅保健医療圏における救急医療を中心とした医療提供体制の整備は不可欠であり、東千葉メディカルセンターが提供する医療は救急医療・急性期医療を軸とし、また、地域における救急医療機関相互の連携体制を確保するための中核病院として機能することが求められている。また、救急以外の疾病に対しても中核病院としての役割を担うことが期待されている。

平成23年度における全体的な状況

1. 平成23年度の総括と課題

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターは、平成22年10月1日に設立され、平成22年度から平成25年度までを中期目標・中期計画の期間として事業を推進し、平成26年4月1日の開院を目指している。

平成22年度から平成25年度までの中期目標・中期計画の期間は、病院開院に向けた準備期間にあたることから、病院建設に係る設計、建設事業を行うとともに、医師・看護師等の人材の確保を図り、病院運営の仕組みを構築し、併せてこれらを推進するための資金の確保・調達をしていかなければならない重要な期間にあたる。

平成23年度は、前年度よりも法人役員(理事)及び法人職員を増員し、業務執行体制の充実強化を図ってきた。また、これまで法人名称と病院名称とを同一名称としてきたが、当該医療圏で唯一の三次救急を担う医療機関として周辺地域との連携・協力・支援を得ていく上で広域性のある名称にするため、また所在地がわかりやすく、かつ覚えやすい名称とするため、設立団体の理解を得て、平成24年3月23日付けで病院名を「東千葉メディカルセンター」に変更した。

医師確保については、千葉大学医学部において平成24年度に向けた特任教授の公募と選任が行われるとともに、看護師確保についても、平成24年度に向けた採用募集を行い、また、看護学生への奨学金の募集も行い、おおむね当初の見込みを達成することができた。

平成23年度の主要事業のひとつである実施設計委託業務については、予定どおり完了するとともに、建築確認その他の法手続きも行ってきた。建設工事の発注については、平成24年3月27日に当該工事の入札を予定していたが、不調となったため、設計の見直し等を行い、再入札の準備を進めた。

平成24年度は、再入札の準備を迅速に進め、早急に工事施工業者を選定するとともに、工事が円滑に進捗するよう周辺の住民や企業に説明会等を行うとともに、工事の安全確保、近隣迷惑の防止等に努め、計画どおり東千葉メディカルセンターの建設工事を推進することとする。

(注：建設工事については、再入札により平成24年4月26日に(株)大林組が落札し、翌27日に契約した。)

2. 大項目ごとの特記事項

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質に関する目標を達成するためとるべき措置

- ・設立団体より引き継いだ『地域医療センター基本設計図書』及び『地域医療センター建築敷地地質調査報告書』に基づき、平成23年度年度計画で定めた病院本棟ほか附属施設の実設計図書の作成を完了した。

- ・建設工事の発注にあたり有識者等の意見を聞くため、「建設工事発注検討委員会」を設置した。当該委員会の提言を踏まえ、発注方法については、病院本棟ほか附属施設を含め一括発注とし、制限付き一般競争入札によることとした。
- ・平成24年3月27日に建設工事の入札を予定していたが、不調となったため、設計の見直し等を行い、再入札の準備を進めた。(注：再入札により平成24年4月26日に(株)大林組が8,179,500千円で落札し、翌27日に同額にて契約した。)
- ・医師確保については、千葉大学医学部において平成24年度に向けた特任教授の公募と選任が行われた。
- ・看護師確保については、平成24年度採用予定者の公募を行い、予定数の採用を行った。
- ・看護学生に対する奨学金については、平成23年度分に係る応募者は予定数に満たなかったが、平成24年度分については、予定数を上回る応募申請があり、看護学生の確保もおおむね予定どおり進捗している。
- ・医師会その他各種の医療関係団体に加入し、今後、地域医療連携を進めるための環境づくりを推進した。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

- ・医療情報システム導入業務作業実施計画書に基づき、医療情報システム基本計画書を策定した。
- ・政令8業務を含む外部委託に関する基本方針に基づき、業務委託基本計画を策定した。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

- ・病院本棟ほか附属施設の設計にあたっては、公立病院改革ガイドラインを踏まえ整備費の抑制を考慮した設計内容とした。
- ・人事労務制度基本設計書に基づき非公務員による運営であることを踏まえた給与制度とするため、未整備であった医療職関係の給与規程等を整えた。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置、予算・収支計画・資金計画等

- ・東金市及び九十九里町からの貸付金・負担金を財源として実施設計業務を委託し、病院本棟ほか附属施設の実施設計図書の作成が完了した。(実施設計業務委託金額138,960千円)
- ・医療センターニュースを発行するほか、新たにホームページを立ち上げ、地域に対する広報の環境を整えた。(平成23年度末ホームページアクセス件数 約38,000件)

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター 平成23事業年度 年度計画評価表(案)

項目番号			年度計画		実施 状況	地方独立行政法人		評価委員会評価		
大	中	小	内 容	目 標 数値等		自己評価		評 価	評 価	評価の判断理由・評価に 対するコメントなど
1			住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置							
	1		医療センターの医療機能		実施	<ul style="list-style-type: none"> 組織体制の強化、関係諸規程の追加整備及び見直し等を図り、地域の中核病院としての医療機能及び4疾病、4事業に対応した医療機能を確保するための人員体制等を整えた。 理事(H22) 3人→(H23) 5人 職員(H22) 4人→(H23) 12人 基本設計に基づき、千葉大学医学部・同附属病院と連携し、4疾病4事業にも対応可能な医療機能を有する実施設計図書を作成した。 	3			
	2		医療センターの施設整備							
	(1)		平成22年度に東金市・九十九里町から出資を受けた『地域医療センター基本設計図書』及び『地域医療センター建築敷地地質調査報告書』に基づき、下記内容について、工事实施のために必要な実施設計図書を作成する。 <ul style="list-style-type: none"> 病院本棟及び防災倉庫・エネルギー棟 保育所 ドクターヘリ・ヘリポート 外構 		実施	<ul style="list-style-type: none"> 設立団体より引き継いだ『地域医療センター基本設計図書』及び『地域医療センター建築敷地地質調査報告書』に基づき、病院本棟ほか附属施設の実実施設計図書を作成した。 建設工事の発注にあたり有識者等の意見を聞くため、「建設工事発注検討委員会」を設置した。 建設工事発注検討委員会の提言を踏まえ、発注方法については、病院本棟ほか附属施設を含め一括発注とした。 	3			

				<ul style="list-style-type: none"> ・施工者選定方式については入札参加資格は単独、JVを問わない制限付き一般競争入札を採用し、低入札の際の品質確保の担保として低入札価格調査及び瑕疵担保責任期間を5年とした。また施工者の技術を生かしたコスト低減を図るため契約時交渉方式を採用した。 ・建設工事の発注については、平成24年3月27日に当該工事の入札を予定していたが、不調となったため、設計の見直し等を行い、再入札の準備を進めた。 (注：建設工事については、再入札により平成24年4月26日に(株)大林組が8,179,500千円で落札し、翌27日に同額にて契約した。) 		
7	(2)	<p>工事の着手に法令上必要となる下記の諸手続を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画法第29条の規定に基づく『開発行為許可』 ・建築基準法第6条の規定に基づく『建築確認』その他 	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画法第29条の規定に基づく開発行為許可申請の手続きを行った。 (平成23年10月13日当初許可) (平成24年2月20日変更許可) ・建築基準法第6条の規定に基づく建築確認申請の手続きを行った。 (平成24年4月3日確認通知) 	3	
	(3)	<p>医師・看護師宿舎については、プレハブ形式を基本とした発注方法等の検討を進める。</p>	実施	<p>医師・看護師宿舎については、利用者の安全性に配慮するとともに、プレハブ形式を採用した。</p>	3	
	(4)	<p>保育所、医師・看護師宿舎については、隣地との住環境の調和や防犯に配慮した施設整備とする。</p>	実施	<p>保育所、医師・看護師宿舎については、住環境・防犯に配慮した実施設計とした。</p>	3	

	(5)	工事を実施するのに必要な全体工程を策定する。	実施	工事実施に必要な全体工程表を作成した。	3	
	(6)	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインについて、基本設計における考え方をもとに外来部門を中心としてさらに詳細な検討・設計を行う。 技術革新による医療機能の変化及び社会状況の変化による病院機能の将来的な拡充やプラン変更について、基本設計における考え方をもとにさらに具体的な検討・設計を行う。 ドクターヘリ・ヘリポートは、基本設計における考え方をもとに地域住民の住環境への影響の少ない進入及び着陸空域の詳細な設定をする。 	実施	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 外来部門を中心として、ユニバーサルデザインを採用する実施設計とした。 病院機能の将来的な拡充やプラン変更に対応できる実施設計とした。 障害者にも使いやすい病院とするため平成23年8月11日に障害者福祉団体連絡協議会と意見交換を行った。その際の意見も参考として実施設計を行った。 ドクターヘリ・ヘリポートは航空法に適合し、かつ敷地内において可能な限り地域住民の住環境への影響の少ない進入及び着陸空域を設定した。 	3	
3		医療センターの設備整備				
	(1)	<p>病院本棟及びエネルギー棟の設備整備は基本設計に基づき、次により実施設計を行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業費を踏まえた、イニシャルコスト、ランニングコスト等の比較による省エネルギー対応の検討と方針の決定 各部門の機能、部屋の広さ、役割に対応した設備容量の決定 	実施	<p>病院本棟及びエネルギー棟の設備整備は基本設計に基づき、次により実施設計を行なった。</p> <ul style="list-style-type: none"> イニシャルコスト、ランニングコストを検討した結果、空調ポンプ、外気調和機等について省エネルギー設備を導入することとした。 各部門の機能、部屋の広さ、役割に対応した設備容量とした。 	3	

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸室内の医療機器配置等に対応した衛生器具、空調機器の配置 ・ 諸室の機能に対応した医療ガスアウトレットの配置 ・ 災害時の医療活動を考慮したライフラインの系統分け ・ メンテナンス性や使い勝手を考慮した設備仕様の決定、配置 ・ 災害に対応した非常用電源（自家発電設備等）としての適正な設備容量の決定 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸室内の医療機器配置等に対応した衛生器具、空調機器を配置した。 ・ 諸室の機能に対応するよう医療ガスアウトレットの配置を行った。 ・ 災害時の医療活動を考慮し、エネルギー源の多重化を図った。 ・ メンテナンス性や使い勝手を考慮した設備仕様の決定、配置を行った。 ・ 災害に対応した非常用電源としての設備容量を算出し採用した。 			
	(2)	<p>主要な放射線関連医療機器等の整備計画の見直し、更新を図る。</p>	実施	<p>医療機器整備計画に基づき、什器備品配置案の作成及び選定、発注ルールの検討を行った。</p>	3		
	(3)	<p>医師看護師宿舎の設備整備は次の事項を配慮して仕様を検討し、決定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 火災、事故等を予防できる安全な設備 ・ 医師、看護師の多様な勤務形態にも使いやすい設備 	実施	<p>医師看護師宿舎の設備整備は、火災、事故等を予防でき、医師、看護師の多様な勤務形態にも使いやすい設備とした。</p>	3		
	(4)	<p>院内保育所の設備整備は基本設計に基づき、次により実施設計を行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通常保育のほか、体調不良児の保育にも対応できる設備 ・ 安全性、快適性に配慮した空調、衛生設備 ・ 火災、事故等を予防できる安全な設備 	実施	<p>院内保育所の設備整備は、体調不良児の保育にも対応可能で、安全性、快適性に配慮した空調、衛生設備を配し、火災、事故等を予防できる安全な設備とした。</p>	3		
4		<p>医療センターの人材確保</p>					
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師に関しては、千葉大学医学部・同附属病院と共同の臨床教育システム(千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センター)を応用した医師派遣システム 	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師に関しては、医師派遣システム導入のため、千葉大学医学部・同附属病院と共同して、臨床教育センターの設置事務を進めた。 	3		

	<p>を導入するため、千葉大学医学部・同附属病院と共同して、臨床教育センターの設置事務を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師に関しては、人材確保のための専門体制を整えるとともに、募集活動を開始する。 ・将来に向けた看護師の育成と安定的な確保を図るため奨学金制度の運用を開始する。 ・看護実践の場においてリーダーとなる人材を育成・確保し高水準の看護を提供するため、認定看護師の資格取得のための支援を開始する。平成23年度には公募を実施し、平成24年度に採用する。 ・千葉大学、千葉県立保健医療大学、城西国際大学等の教育機関と連携し、看護師、薬剤師その他の人材の確保の基盤を整える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度採用予定看護師の募集を行い、予定数5人の採用を行った。また、平成24年度以降の採用看護師の研修を行うため、受入先予定の千葉大学医学部附属病院と協議を行い研修のための体制を整えた。 ・看護師に関しては、看護部長の就任により募集体制を整え、全国の看護師養成施設等を訪問し、奨学金制度の説明を含め、募集活動を実施した。 訪問施設総数 83施設 奨学金給付者 8人(計画15人) 奨学金受給者8人の内訳 平成24年4月採用予定 1人 平成25年4月採用予定 3人 平成26年4月採用予定 4人 (平成23年度に東金市看護師養成奨学資金貸付条例が制定され、医療センターに係る奨学金制度が別に整えられ、平成24年度から城西国際大学看護学部学生15人が奨学金の給付を受けることとなった。) ・認定看護師資格取得支援として6人分を公募したが、平成23年度内での応募はなかった。当該制度については、平成24年度も引き続き行うこととする。 ・平成28年度までの「医師、看護師、コメディカル職員、事務職員」についての各採用計画を策定し、人材確保の基盤とした。 		
5	医師会や地域の医療機関等との連携				

		地域完結型の医療提供を行うため、行政機関と連携し、県及び郡医師会、近隣医療機関等と急性期医療や慢性期疾患に対する医療等の医療機能の役割分担を推進する取組みを進める。	実施	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度から医師会等との連携の基本となる山武都市医師会、千葉県医師会、日本医師会に加入した。 平成24年2月13日に地域医療の協議組織である山武地域医療協議会に加入した。 千葉県、県病院局、千葉大学医学部附属病院等と地域連携その他を今後協議していくための連携協議会設立に向けた事前協議を行った。 	3		
2		業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置					
	1	効率的で財政上も健全な運営方法の確立 <ul style="list-style-type: none"> 平成22年度に作成した病院全体の医療情報システム構築のための計画に基づき、医療センターが目指す機能を考慮した医療情報システムの基本となる計画を策定する。 政令8業務を含む外部委託に関する基本方針に基づき、委託する業務を精査する。 	実施	<ul style="list-style-type: none"> 医療情報システム導入業務作業実施計画書に基づき、医療情報システム基本計画書の策定及び調整を行った。 政令8業務を含む外部委託に関する基本方針に基づき、業務委託基本計画を策定した。 	3		
	2	魅力ある人事・給与制度の確立 平成22年度に策定した人事評価制度、給与制度、退職金制度、前歴加算制度等の各基本方針を定めた人事制度基本設計に基づき、地方独立行政法人としての有利性を生かした人事・給与制度の仕組みづくりを進める。	実施	医療職(看護師)の給与制度を整えるため、人事労務制度基本設計書に基づき給与規程等を整備した。	3		
	3	会計制度の整備と運用 地方独立行政法人の財務会計制度を生かし、柔軟な運用が行えるよう会計規程の見直しや、帳簿組織を確立するために更なる精査・検討を行う。	実施	建設工事の契約を踏まえ、契約規程の一部を改正した。財務会計を基本である手作業による伝票方式の帳簿からパソコンにより集計する帳簿方式に改めた。	3		
3		財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置					
	1	健全な経営基盤の確立					

	(1)	権限と責任の所在を明確にした組織の確立 平成25年度までに病院開設後必要となる組織計画を策定するため必要な検討等を行う。	実施	前年度に引き続き、病院開設後必要となる組織計画を策定するため、組織規程等の一部改正や必要な検討等を行った。	3		
	(2)	経営情報システムの構築 平成22年度に作成した病院全体の医療情報システム構築のための計画に基づき、医療センターが目指す機能を考慮した医療情報システムの基本となる計画を策定する。(再掲)	実施	医療情報システム導入業務作業実施計画書に基づき、医療情報システム基本計画書の策定及び調整を行った。(再掲)	3		
2		支出の適正化					
	(1)	建築関連 起債償還、メンテナンス等の将来的な経営負担と医療センターに必要な機能や効率性の確保についてバランスのとれた実施設計を行う。特に、公立病院改革ガイドラインに基づく整備費の抑制の方針を順守する設計とする。	実施	公立病院改革ガイドラインを踏まえ、整備費の抑制を考慮した設計内容とした。	3		
	(2)	人件費関連 医師、看護師等の給与等については、非公務員による運営であることを踏まえた給与制度の構築を図る。	実施	医療職(看護師)の給与制度を整えるため、人事労務制度基本設計書に基づき給与規程等を整備した。(再掲)	3		
	(3)	経営シミュレーションの実施 医療制度、診療報酬制度の改定、実施設計による建設費の確定等にあわせ、必要に応じ将来的な財務内容の適正化及び健全化の見直しを立てるため、随時経営シミュレーションの見直しを行う。	—	本年度においては収支シミュレーションの見直しを必要とする大きな制度変更がなかったため見直しは実施していないが、引き続き、必要に応じてのシミュレーションは行うこととする。	—		
4		その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置					
	1	実施スケジュールの確立					

	<p>平成23年度の実施スケジュールは次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="338 229 922 970"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>管理運営体制</td> <td>事業執行体制の拡充強化</td> </tr> <tr> <td>施設建築関係等</td> <td>実施設計</td> </tr> <tr> <td>医師確保</td> <td>臨床教育センターの設置事務</td> </tr> <tr> <td>看護師等のコメディカルの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師確保のため、パンフレット等によるPR活動や看護師養成機関等の訪問 ・看護師奨学金制度を活用した学生・大学院生への奨学金の支給 ・認定看護師資格取得費用支給要綱の確立による資格取得支援 ・薬剤師、臨床検査技師等の募集手法の検討・募集の着手 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成23年度	管理運営体制	事業執行体制の拡充強化	施設建築関係等	実施設計	医師確保	臨床教育センターの設置事務	看護師等のコメディカルの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師確保のため、パンフレット等によるPR活動や看護師養成機関等の訪問 ・看護師奨学金制度を活用した学生・大学院生への奨学金の支給 ・認定看護師資格取得費用支給要綱の確立による資格取得支援 ・薬剤師、臨床検査技師等の募集手法の検討・募集の着手 		<p>実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務執行体制の充実強化を図るため、人員体制等を整えた。 理事(H22)3人→(H23)5人 職員(H22)4人→(H23)12人 (一部再掲) ・東金市及び九十九里町からの貸付金・負担金を財源として実施設計業務を委託し、病院本棟ほか附属施設の実施設計図書の作成が完了した。(実施設計業務委託金額138,960千円) ・実施設計と並行し、千葉大学医学部と臨床教育センターの設置に係る事務協議を進めた。 ・看護師に関しては、看護部長の就任により募集体制を整え、全国の看護師養成施設等訪問し、奨学金制度の説明を含め、募集活動を実施した。 訪問施設総数 83施設 奨学金給付者 8人(計画15人) 奨学金受給者8人の内訳 平成24年4月採用予定 1人 平成25年4月採用予定 3人 平成26年4月採用予定 4人 (再掲) ・認定看護師資格取得支援として6人分を公募したが、平成23年度内での応募はなかった。当該制度については、平成24年度も引き続き行うこととする。 (再掲) ・平成28年度までの「医師、看護師、コメディカル職員、事務職員」についての各採用計画を策定し、人材確保の基盤とした。 (再掲) 	<p>3</p>	
項目	平成23年度														
管理運営体制	事業執行体制の拡充強化														
施設建築関係等	実施設計														
医師確保	臨床教育センターの設置事務														
看護師等のコメディカルの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師確保のため、パンフレット等によるPR活動や看護師養成機関等の訪問 ・看護師奨学金制度を活用した学生・大学院生への奨学金の支給 ・認定看護師資格取得費用支給要綱の確立による資格取得支援 ・薬剤師、臨床検査技師等の募集手法の検討・募集の着手 														

2	財政負担の原則		実施	東金市及び九十九里町からの貸付金・負担金を財源として実施設計業務を委託し、病院本棟ほか附属施設の実実施設計図書の作成が完了した。 (実施設計業務委託金額 138,960 千円) (再掲)	3		
	施設及び設備の内容	<table border="1"> <tr> <td>施設及び設備の内容</td> <td>予 定 額</td> <td>財 源</td> </tr> <tr> <td>実施設計</td> <td>総額 172 百万円</td> <td>東金市及び九十九里町からの負担金及び貸付金</td> </tr> </table>					
施設及び設備の内容	予 定 額	財 源					
実施設計	総額 172 百万円	東金市及び九十九里町からの負担金及び貸付金					
3	地域に対する広報等		実施	<ul style="list-style-type: none"> 医療センターニュース（1回発行）を発行するほか、新たにホームページを立ち上げ、地域に対する広報の環境を整えた。(平成23年度末ホームページアクセス件数 約38,000件) 看護師募集その他については、設立団体の発行する広報も活用し、柔軟な広報活動を推進した。 薬剤師会、住民団体、障害者団体等からの要請に応じて適宜に説明会を開催した。 	3		
	<ul style="list-style-type: none"> 東金市及び九十九里町と協議し、医療センターの整備状況等を定期的に広報する。 住民に開かれた医療センターとするため、情報提供と情報公開を推進する。 						
5	予算(人件費の見積もりを含む)、収支計画及び資金計画						
			—	省略(財務諸表等による)	—		
6	短期借入金の限度額						
			—	平成23年度における短期借入金はない	—		
7	重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画						
			—	平成23年度においては、重要な財産の譲渡等に関する計画はない。	—		
8	剰余金の使途						

				—	・平成23年度においては、該当する剰余金はない。	—	
9		料金に関する事項					
				—	・平成23年度においては、該当する料金は無い。	—	
10		その他業務運営に関する重要事項（平成23年度）					
	(1)	施設及び設備に関する計画		—	・「第1住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」で記載したとおり計画どおり実施した。	—	
	(2)	積立金の処分に関する計画		—	・平成23年度においては、積立金の処分に関する計画はない。	—	

財務諸表

平成23年度
(第2期事業年度)

自 平成23年 4月 1日
至 平成24年 3月31日

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

目 次

貸借対照表	-----	18
損益計算書	-----	19
キャッシュ・フロー計算書	-----	20
利益の処分に関する書類	-----	21
行政サービス実施コスト計算書	-----	22
注記事項	-----	23
附属明細書	-----	24
(1) 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費(「第85 特定の償却資産の減価にかかる会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)の明細	-----	25
(2) たな卸資産の明細	-----	26
(3) 有価証券の明細	-----	26
(4) 長期貸付金の明細	-----	26
(5) 長期借入金の明細	-----	26
(6) 引当金の明細	-----	26
(7) 資産除去債務の明細	-----	26
(8) 保証債務の明細	-----	26
(9) 資本金及び資本剰余金の明細	-----	26
(10) 積立金等の明細及び目的積立金の取崩しの明細	-----	27
(11) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細	-----	27
(12) (運営費負担金以外の)地方公共団体等からの財源措置の明細	-----	27
(13) 役員及び職員の給与の明細	-----	27
(14) 開示すべきセグメント情報	-----	27
(15) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細	-----	28

貸借対照表
(平成24年3月31日)

【単位:円】

資産の部		負債の部	
I 固定資産		I 固定負債	
1 有形固定資産		資産見返運営費負担金	6,720,000
土地	905,510,550	建設仮勘定見返運営費負担金	60,000
建物		長期寄附金債務	
構築物		長期借入金	1,044,400,000
器械備品		退職給付引当金	1,396,400
建設仮勘定	224,195,850	固定負債合計	1,052,576,400
其他有形固定資産			
有形固定資産合計	<u>1,129,706,400</u>	II 流動負債	
2 無形固定資産		短期借入金	
ソフトウェア		一年以内返済予定長期借入金	
其他無形固定資産		医業未払金	
無形固定資産合計	<u>0</u>	医業外未払金	24,075,872
3 投資その他の資産		預り金	332,421
長期前払費用		運営費負担金債務	10,075,777
長期貸付金	6,720,000	賞与引当金	
其他投資資産		其他流動負債	
投資その他の資産合計	<u>6,720,000</u>	流動負債合計	34,484,070
固定資産合計	1,136,426,400	負債合計	1,087,060,470
		純資産の部	
II 流動資産		I 資本金	95,235,850
現金及び預金	45,908,439	設立団体出資金(東金市)	70,093,585
医業未収金		設立団体出資金(九十九里町)	25,142,265
貸倒引当金		II 資本剰余金	10,550
	<u>45,908,439</u>	資本剰余金	10,550
未収金		III 利益剰余金	
医薬品		積立金	2,074
其他流動資産		当期未処分利益	25,895
流動資産合計	45,908,439	(うち当期総利益)	(25,895)
資産合計	1,182,334,839	利益剰余金合計	<u>27,969</u>
		純資産合計	95,274,369
		負債純資産合計	1,182,334,839

損益計算書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

【単位:円】

営業収益			
医業収益			
運営費負担金収益		154,064,047	
資産見返運営費負担金戻入			
その他営業収益			
営業収益合計			154,064,047
営業費用			
医業費用			
一般管理費			
給与費	124,796,381		
経費	29,267,666	154,064,047	
営業費用合計			154,064,047
営業利益(△は営業損失)			0
営業外収益			
運営費負担金収益		16,803,847	
財務収益		25,285	
その他営業外収益		610	
営業外収益合計			16,829,742
営業外費用			
財務費用		16,803,847	
その他営業外費用			
営業外費用合計			16,803,847
経常利益(△は経常損失)			25,895
臨時損失			
当期純利益(△は当期純損失)			25,895
目的積立金取崩額			
当期総利益(△は当期総損失)			25,895

キャッシュ・フロー計算書
(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

【単位:円】

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
材料の購入による支出	
人件費支出	△ 125,905,778
その他の業務支出	△ 23,108,670
医業収入	
運営費負担金収入	185,792,000
補助金等収入	
その他	610
小計	36,778,162
利息の受取額	25,285
利息の支払額	△ 16,803,847
業務活動によるキャッシュ・フロー	19,999,600
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 138,960,000
有形固定資産の売却による収入	
投資資産の取得による支出	△ 6,720,000
運営費負担金収入	6,780,000
補助金等収入	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 138,900,000
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	138,900,000
長期借入金の返済による支出	
運営費負担金収入	
金銭出資の受入れによる収入	
財務活動によるキャッシュ・フロー	138,900,000
IV 資金増加額(△は資金減少額)	19,999,600
V 資金期首残高	25,908,839
VI 資金期末残高	45,908,439

注記事項

資金の期末残高と貸借対照表に記載されている科目の内訳は、次のとおりです。

現金及び預金	45,908,439円
資金期末残高	45,908,439円

利益の処分に関する書類
(平成24年5月24日)

【単位:円】

科目	金額	
I 当期未処分利益		25,895
当期総利益	25,895	
II 利益処分額		
積立金	25,895	25,895

行政サービス実施コスト計算書
(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

【単位:円】

科目	金額	
I 業務費用		
(1)損益計算書上の費用		
医業費用		
一般管理費	154,064,047	
営業外費用	16,803,847	
臨時損失		170,867,894
(2)(控除)自己収入等		
医業収益		
寄附金収益		
受託収入		
その他営業収益		
その他営業外収益等	△ 25,895	△ 25,895
業務費用合計		170,841,999
(うち 減価償却充当補助金相当額)		
II 機会費用		
国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用		1,166,651
地方公共団体出資の機会費用		941,034
		2,107,685
III 行政サービス実施コスト		172,949,684

注記事項

重要な会計方針

1. 運営費負担金収益及び運営費交付金収益の計上基準

期間進行基準を採用しています。

2. 退職給付に係る引当金の計上基準

職員の退職給付に備えるため、期末自己都合要支給額を計上しています。

3. 賞与引当金の計上基準

中期計画の予算において、賞与に係る財源を措置しているため、賞与引当金を計上していません。

4. 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

(1) 国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法

東金市行政財産使用料条例に基づき、使用料を算定しています。

(2) 地方公共団体出資の機会費用の計算方法

新発 10 年国債の平成 24 年 3 月末利回りを参考に 0.988%で計算しています。

5. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込み方式によっています。

附 属 明 细 书

(1) 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費（「第85 特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）の明細

【単位：円】

資産の種類	期首 残高	当期 増加額	当期 減少額	期末 残高	減価償却累計額		差引当期末 残高	摘要
						当期償却額		
有形固定 資産 (償却費損 益内)	建物							
	構築物							
	建設仮勘定	85,235,850	138,960,000		224,195,850		224,195,850	
	その他							
	計		138,960,000		224,195,850		224,195,850	
有形固定 資産 (償却費損 益外)	建物							
	構築物							
	その他							
	計							
非償却資産	土地	905,510,550			905,510,550		905,510,550	
	その他							
	計	905,510,550			905,510,550		905,510,550	
有形固定 資産合計	土地	905,510,550			905,510,550		905,510,550	
	建物							
	構築物							
	建設仮勘定	85,235,850	138,960,000		224,195,850		224,195,850	
	その他							
	計	990,746,400	138,960,000		1,129,706,400		1,129,706,400	
無形固定 資産	ソフトウェア							
	その他							
	計							
投資その 他の資産	長期貸付金		6,720,000		6,720,000		6,720,000	
	その他							
	計		6,720,000		6,720,000		6,720,000	

(2) たな卸資産の明細

該当事項はありません。

(3) 有価証券の明細

該当事項はありません。

(4) 長期貸付金の明細

【単位：円】

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			回収額	償却額		
平成23年度奨学金		6,720,000			6,720,000	
計		6,720,000			6,720,000	

(5) 長期借入金の明細

【単位：円】

区分	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高	利率	返済期限	摘要
平成22年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	905,500,000			905,500,000	1.9%	平成53年3月20日	土地購入
平成23年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金		138,900,000		138,900,000	1.7%	平成54年3月20日	実施設計業務委託
計	905,500,000	138,900,000		1,044,400,000			

(6) 引当金の明細

【単位：円】

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
退職給付引当金	476,000	920,400			1,396,400	

(7) 資産除去債務の明細

該当事項はありません。

(8) 保証債務の明細

該当事項はありません。

(9) 資本金及び資本剰余金の明細

【単位：円】

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
資本金	東金市	70,093,585		70,093,585	
	九十九里町	25,142,265		25,142,265	
	計	95,235,850		95,235,850	
資本剰余金	資本剰余金	10,550		10,550	
	運営費負担金	10,550		10,550	
	計	10,550		10,550	
損益外減価償却累計額					
差引計	10,550			10,550	

(10) 積立金等の明細及び目的積立金の取り崩しの明細

(10) -1 積立金及び目的積立金の明細

【単位:円】

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
法第40条第1項積立金	0	2,074		2,074	

(10) -2 目的積立金の取り崩しの明細

該当事項はありません。

(11) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細

(11) -1 運営費負担金債務

【単位:円】

交付年度	期首残高	負担金当期 交付額	当期振替額				期末残高
			運営費負担金収益	資産見返運 営費負担金	資本剰余金	小計	
平成22年度		43,733,092	41,749,975		10,550	41,760,525	1,972,567
平成23年度	1,972,567	185,751,104	170,867,894	6,780,000		177,647,894	10,075,777
計		229,484,196	212,617,869	6,780,000	10,550	219,408,419	

(11) -2 運営費負担金収益

【単位:円】

業務等区分	平成22年度支給分	平成23年度支給分	合計
期間進行基準	41,749,975	170,867,894	212,617,869
費用進行基準			0
計	41,749,975	170,867,894	212,617,869

(12) (運営費負担金以外の) 地方公共団体等からの財源措置の明細

該当事項はありません。

(13) 役員及び職員の給与の明細

【単位:千円・人】

区分	報酬又は給与		退職手当	
	支給額	支給人員	支給額	支給人員
役員	(625)	(4)		
	20,541	1		
職員	(2,223)	(3)		
	86,515	12		
計	(2,848)	(7)		
	107,056	13		

(注1) 非常勤の役職員については、外数として()で記載しました。

(注2) 役員報酬については、「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター役員報酬等規程」に基づき支給しています。

職員給与については、「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター職員給与規程」、「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター職員給与規程」、「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの任期付職員の採用等に関する規程」、「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター派遣職員就業規則」及び「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター非常勤職員就業規則」に基づき支給しています。

(注3) 上記明細には、法定福利費を含めていません。

(14) 開示すべきセグメント情報

該当事項はありません。

(15) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細

(15) -1 現金及び預金の明細

【単位:円】

区分	期末残高	摘要
普通預金	24,512,039	
定期預金	21,396,400	
計	45,908,439	

(15) -2 医業外未払金の明細

【単位:円】

区分	期末残高	摘要
手当及び報酬	594,900	
法定福利費	377,876	
旅費交通費	7,200	
その他(委託料等)	23,095,896	
計	24,075,872	

(15) -3 預り金の明細

【単位:円】

区分	期末残高	摘要
共済掛金等預り金	92,990	
社会保険料預り金	239,431	
計	332,421	

(15) -4 一般管理費の明細

【単位:円】

科目	金額	
一般管理費		
給与費		
給料及び手当	86,514,890	
役員報酬及び手当	21,166,840	
その他報酬及び手当	2,422,060	
退職給付費用	920,400	
法定福利費	13,772,191	124,796,381
経費		
旅費交通費	1,022,592	
消耗品費	238,663	
消耗備品費	582,504	
会議費	4,710	
印刷製本費	131,250	
通信運搬費	120,855	
委託料	17,266,620	
手数料	190,221	
租税公課	4,383,961	
負担金	296,500	
支払寄付金	5,000,000	
雑費	29,790	29,267,666
一般管理費合計		154,064,047

決算報告書

平成23年度
(第2期事業年度)

自 平成23年4月 1日
至 平成24年 3月31日

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

平成23年度決算報告書

【単位:円】

区分	予算額	決算額	差額 (決算額-予算額)	備考
収入				
営業収益	176,000,000	162,167,257	△ 13,832,743	
医業収益				
運営費負担金収益	172,000,000	162,167,257	△ 9,832,743	
補助金等収益	5,000,000		△ 5,000,000	
営業外収益	21,000,000	16,829,742	△ 4,170,258	
運営費負担金収益	21,000,000	16,803,847	△ 4,196,153	長期借入に係る利率が予算を下回ったため、支払利息が予算額を下回ったことによる。
雑益		25,895	25,895	利息の受取り等による。
資本収入	172,000,000	145,680,000	△ 26,320,000	
資本金収入				
運営費負担金収入		6,780,000	6,780,000	長期貸付金(奨学金)に充当したこと等による。
補助金収入				
長期借入金	172,000,000	138,900,000	△ 33,100,000	実施設計業務委託費が予算額を下回り、借入額が減少したことによる。
その他の収入				
計	369,000,000	324,676,999	△ 44,323,001	
支出				
営業費用	176,000,000	154,064,047	△ 21,935,953	
医業費用				
一般管理費	176,000,000	154,064,047	△ 21,935,953	
給与費	128,000,000	124,796,381	△ 3,203,619	非常勤職員報酬の執行額が予算額を下回ったことによる。
経費	48,000,000	29,267,666	△ 18,732,334	奨学金等の執行額が予算額を下回ったことによる。
雑支出				
営業外費用	21,000,000	16,803,847	△ 4,196,153	
支払利息	21,000,000	16,803,847	△ 4,196,153	長期借入金に係る利率が予算を下回ったことによる。
資本支出	172,000,000	145,680,000	△ 26,320,000	
建設改良費	172,000,000	138,960,000	△ 33,040,000	実施設計業務委託費が予算額を下回ったことによる。
長期貸付金		6,720,000	6,720,000	奨学金による。
その他の支出				
計	369,000,000	316,547,894	△ 52,452,106	
単年度資金収支 (収入-支出)	0	8,129,105	8,129,105	

(注1)決算額は、収入については現金預金の収入額に期首期末の未収金額等を加減算したものを、支出については現金預金の支出額に期首期末の未払金額等を加減算したものを記載しています。

(注2)上記の数値は、消費税込みの金額を記載しています。

平成 23 年度 事業報告書

自 平成 23 年 4 月 1 日

至 平成 24 年 3 月 31 日

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

目 次

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの概要

1. 現況	33
2. 設置・運営予定病院	33
3. 医療センターの位置づけ	34

平成 23 年度における全体的な状況

1. 平成 23 年度の総括と課題	34
2. 大項目ごとの特記事項	35
第 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質に関する目標を達成 するためとるべき措置	35
第 2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	35
第 3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	36
第 4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置、予算 ・収支計画・資金計画等	36

平成 23 年度における項目別の状況

第 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を 達成するためとるべき措置	36
第 2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	38
第 3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	39
第 4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	39
第 5 予算(人件費の見積もりを含む)、収支計画及び資金計画	40
第 6 短期借入金の限度額	40
第 7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	40
第 8 剰余金の使途	40
第 9 料金に関する事項	40
第 10 その他業務運営に関する重要事項(平成 23 年度)	40

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの概要

1. 現況

(1) 法人名

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

(2) 本部の所在地

千葉県東金市東岩崎1番地1

(3) 設 立：平成22年10月1日法人設立

(4) 役員の状況(平成24年3月31日現在)

理事長：平澤 博之

理 事：石原 照子、原田 修、篠崎 純（非常勤）、横須賀 收（非常勤）、
大川 昌権（非常勤）

監 事：白土 英成

(5) 職員数(平成24年3月31日現在)

常勤職員：12 非常勤職員：1

2. 設置・運営予定病院

(1) 病院の概要

病院名：東千葉メディカルセンター（平成24年3月23日病院名変更）

所在地：千葉県東金市丘山台三丁目6番2

開 院：平成26年4月1日開院予定

病床数：314床（救命救急センター（ICU：10床・HCU：10床）、一般
294床）（開院時146床）

診療科： 22科

医 師： 56人（開院時 30人 研修医含む。）

看護師：286人（開院時129人）

(2) 基本理念

患者の権利を尊重し、救急医療・急性期医療を核とした地域中核病院として地域
住民に信頼される高度で安全な医

療を行います。

(3) 基本方針

- 救命救急センターを併設して24時間、365日の救急医療の提供を行います。
- 高度な専門医療の提供を行い、地域住民の生命と健康を守ります。
- 常に安全・安心の医療を行います。
- 患者の権利を尊重し、常に患者第一の医療提供を行います。
- 医療連携を推進し、地域の患者により良い医療を提供します。
- 地域の中核病院として、地域医療機関と密接な連携を図ります。
- 医療従事者の教育・研修に努め、継続的に地域における医療の質の向上を図ります。

- 千葉大学医学部・同附属病院と密接に連携して診療を行います。
- 健全経営に努めるとともに、生き生きとした職場づくりに努めます。
- 地域の保健・医療に貢献するため、地域中核病院としての役割を担います。

3. 東千葉メディカルセンターの位置づけ

山武長生夷隅保健医療圏の主要疾病（がん、心疾患、脳血管疾患）死亡数は、全県と比較して多い状況だが、その一方で治療に当たる医師や看護師をはじめとする医療従事者数は、全県と比較して少ない状況にある。

山武地域の救急搬送状況（山武郡市消防本部管内）をみると、平成18年から平成22年まで、救急患者の40%前後が圏域外の医療機関に搬送される状況が続いている。

また、本医療圏には救命救急センターが整備されていないため、重篤救急患者は、印旛あるいは香取海匝、安房、千葉圏域などの三次救急医療機関に依存しており、三次救急医療体制の確立が急務となっている。

こうした現状を踏まえ、山武長生夷隅保健医療圏における救急医療を中心とした医療提供体制の整備は不可欠であり、東千葉メディカルセンターが提供する医療は救急医療・急性期医療を軸とし、また、地域における救急医療機関相互の連携体制を確保するための中核病院として機能することが求められている。また、救急以外の疾病に対しても中核病院としての役割を担うことが期待されている。

平成23年度における全体的な状況

1. 平成23年度の総括と課題

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターは、平成22年10月1日に設立され、平成22年度から平成25年度までを中期目標・中期計画の期間として事業を推進し、平成26年4月1日の開院を目指している。

平成22年度から平成25年度までの中期目標・中期計画の期間は、病院開院に向けた準備期間にあたることから、病院建設に係る設計、建設事業を行うとともに、医師・看護師等の人材の確保を図り、病院運営の仕組みを構築し、併せてこれらを推進するための資金の確保・調達をしていかなければならない重要な期間にあたる。

平成23年度は、前年度よりも法人役員(理事)及び法人職員を増員し、業務執行体制の充実強化を図ってきた。また、これまで法人名称と病院名称とを同一名称としてきたが、当該医療圏で唯一の三次救急を担う医療機関として周辺地域との連携・協力・支援を得ていく上で広域性のある名称にするため、また所在地がわかりやすく、かつ覚えやすい名称とするため、設立団体の理解を得て、平成24年3月23日付けで病院名を「東千葉メディカルセンター」に変更した。

医師確保については、千葉大学医学部において平成24年度に向けた特任教授の公募と選任が行われるとともに、看護師確保についても、平成24年度に向けた採用募集を行い、また、看護学生への奨学金の募集も行い、おおむね当初の見込みを達成す

ることができた。

平成23年度の主要事業のひとつである実施設計委託業務については、予定どおり完了するとともに、建築確認その他の法手続きも行ってきた。建設工事の発注については、平成24年3月27日に当該工事の入札を予定していたが、不調となったため、設計の見直し等を行い、再入札の準備を進めた。

平成24年度は、再入札の準備を迅速に進め、早急に工事施工業者を選定するとともに、工事が円滑に進捗するよう周辺の住民や企業に説明会等を行うとともに、工事の安全確保、近隣迷惑の防止等に努め、計画どおり東千葉メディカルセンターの建設工事を推進することとする。

(注：建設工事については、再入札により平成24年4月26日に(株)大林組が落札し、翌27日に契約した。)

2. 大項目ごとの特記事項

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質に関する目標を達成するためとるべき措置

- ・設立団体より引き継いだ『地域医療センター基本設計図書』及び『地域医療センター建築敷地地質調査報告書』に基づき、平成23年度年度計画で定めた病院本棟ほか附属施設の実実施設計図書の作成を完了した。
- ・建設工事の発注にあたり有識者等の意見を聞くため、「建設工事発注検討委員会」を設置した。当該委員会の提言を踏まえ、発注方法については、病院本棟ほか附属施設を含め一括発注とし、制限付き一般競争入札によることとした。
- ・平成24年3月27日に建設工事の入札を予定していたが、不調となったため、設計の見直し等を行い、再入札の準備を進めた。(注：再入札により平成24年4月26日に(株)大林組が8,179,500千円で落札し、翌27日に同額にて契約した。)
- ・医師確保については、千葉大学医学部において平成24年度に向けた特任教授の公募と選任が行われた。
- ・看護師確保については、平成24年度採用予定者の公募を行い、予定数の採用を行った。
- ・看護学生に対する奨学金については、平成23年度分に係る応募者は予定数に満たなかったが、平成24年度分については、予定数を上回る応募申請があり、看護学生の確保もおおむね予定どおり進捗している。
- ・医師会その他各種の医療関係団体に加入し、今後、地域医療連携を進めるための環境づくりを推進した。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

- ・医療情報システム導入業務作業実施計画書に基づき、医療情報システム基本計画書を策定した。
- ・政令8業務を含む外部委託に関する基本方針に基づき、業務委託基本計画を策定し

た。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

- ・病院本棟ほか附属施設の設計にあたっては、公立病院改革ガイドラインを踏まえ整備費の抑制を考慮した設計内容とした。
- ・人事労務制度基本設計書に基づき非公務員による運営であることを踏まえた給与制度とするため、未整備であった医療職関係の給与規程等を整えた。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置、予算・収支計画・資金計画等

- ・東金市及び九十九里町からの貸付金・負担金を財源として実施設計業務を委託し、病院本棟ほか附属施設の実実施設計図書の作成が完了した。(実施設計業務委託金額 138,960 千円)
- ・医療センターニュースを発行するほか、新たにホームページを立ち上げ、地域に対する広報の環境を整えた。(平成23年度末ホームページアクセス件数 約38,000件)

平成23年度における項目別の状況

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1. 医療センターの医療機能

- ・組織体制の強化、関係諸規程の追加整備及び見直し等を図り、地域の中核病院としての医療機能及び4疾病、4事業に対応した医療機能を確保するための人員体制等を整えた。

理事(H22) 3人→(H23) 5人

職員(H22) 4人→(H23) 12人

- ・基本設計に基づき、千葉大学医学部・同附属病院と連携し、4疾病4事業にも対応可能な医療機能を有する実施設計図書を作成した。

2. 医療センターの施設整備

- ・設立団体より引き継いだ『地域医療センター基本設計図書』及び『地域医療センター建築敷地地質調査報告書』に基づき、病院本棟ほか附属施設の実実施設計図書を作成した。
- ・建設工事の発注にあたり有識者等の意見を聞くため、「建設工事発注検討委員会」を設置した。
- ・建設工事発注検討委員会の提言を踏まえ、発注方法については、病院本棟ほか附属施設を含め一括発注とした。

- ・ 施工者選定方式については入札参加資格は単独、JVを問わない制限付き一般競争入札を採用し、低入札の際の品質確保の担保として低入札価格調査及び瑕疵担保責任期間を5年とした。また施工者の技術を生かしたコスト低減を図るため契約時交渉方式を採用した。
 - ・ 建設工事の発注については、平成24年3月27日に当該工事の入札を予定していたが、不調となったため、設計の見直し等を行い、再入札の準備を進めた。
(注：建設工事については、再入札により平成24年4月26日に(株)大林組が8,179,500千円で落札し、翌27日に同額にて契約した。)
 - ・ 都市計画法第29条の規定に基づく開発行為許可申請の手続きを行った。
(平成23年10月13日当初許可)
(平成24年2月20日変更許可)
 - ・ 建築基準法第6条の規定に基づく建築確認申請の手続きを行った。
(平成24年4月3日確認通知)
 - ・ 医師・看護師宿舎については、利用者の安全性に配慮するとともに、プレハブ形式を採用した。
 - ・ 保育所、医師・看護師宿舎については、住環境・防犯に配慮した実施設計とした。
 - ・ 工事実施に必要な全体工程表を作成した。
- その他
- ・ 外来部門を中心として、ユニバーサルデザインを採用する実施設計とした。
 - ・ 病院機能の将来的な拡充やプラン変更に対応できる実施設計とした。
 - ・ 障害者にも使いやすい病院とするため平成23年8月11日に障害者福祉団体連絡協議会と意見交換を行った。その際の意見も参考として実施設計を行った。
 - ・ ドクターヘリ・ヘリポートは航空法に適合し、かつ敷地内において可能な限り地域住民の住環境への影響の少ない進入及び着陸空域を設定した。

3. 医療センターの設備整備

病院本棟及びエネルギー棟の設備整備は基本設計に基づき、次により実施設計を行なった。

- ・ イニシャルコスト、ランニングコストを検討した結果、空調ポンプ、外気調和機等について省エネルギー設備を導入することとした。
- ・ 各部門の機能、部屋の広さ、役割に対応した設備容量とした。
- ・ 諸室内の医療機器配置等に対応した衛生器具、空調機器を配置した。
- ・ 諸室の機能に対応するよう医療ガスアウトレットの配置を行った。
- ・ 災害時の医療活動を考慮し、エネルギー源の多重化を図った。
- ・ メンテナンス性や使い勝手を考慮した設備仕様の決定、配置を行った。
- ・ 災害に対応した非常用電源としての設備容量を算出し採用した。
- ・ 医療機器整備計画に基づき、什器備品配置案の作成及び選定、発注ルールの検討を行った。
- ・ 医師看護師宿舎の設備整備は、火災、事故等を予防でき、医師、看護師の多様な勤

務形態にも使いやすい設備とした。

- ・院内保育所の設備整備は、体調不良児の保育にも対応可能で、安全性、快適性に配慮した空調、衛生設備を配し、火災、事故等を予防できる安全な設備とした。
- ・医師に関しては、医師派遣システム導入のため、千葉大学医学部・同附属病院と共同して、臨床教育センターの設置事務を進めた。
- ・平成24年度採用予定看護師の募集を行い、予定数5人の採用を行った。また、平成24年度以降の採用看護師の研修を行うため、受入先予定の千葉大学医学部附属病院と協議を行い研修のための体制を整えた。
- ・看護師に関しては、看護部長の就任により募集体制を整え、全国の看護師養成施設等を訪問し、奨学金制度の説明を含め、募集活動を実施した。

訪問施設総数 83施設

奨学金給付者 8人(計画15人)

奨学金受給者8人の内訳

平成24年4月採用予定 1人

平成25年4月採用予定 3人

平成26年4月採用予定 4人

(平成23年度に東金市看護師養成奨学資金貸付条例が制定され、医療センターに係る奨学金制度が別に整えられ、平成24年度から城西国際大学看護学部学生15人が奨学金の給付を受けることとなった。)

- ・認定看護師資格取得支援として6人分を公募したが、平成23年度内での応募はなかった。当該制度については、平成24年度も引き続き行うこととする。
- ・平成28年度までの「医師、看護師、コメディカル職員、事務職員」についての各採用計画を策定し、人材確保の基盤とした。
- ・平成23年度から医師会等との連携の基本となる山武郡市医師会、千葉県医師会、日本医師会に加入した。
- ・平成24年2月13日に地域医療の協議組織である山武地域医療協議会に加入した。
- ・千葉県、県病院局、千葉大学医学部附属病院等と地域連携その他を今後協議していくための連携協議会設立に向けた事前協議を行った。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1. 効率的で財政上も健全な運営方法の確立

- ・医療情報システム導入業務作業実施計画書に基づき、医療情報システム基本計画書の策定及び調整を行った。
- ・政令8業務を含む外部委託に関する基本方針に基づき、業務委託基本計画を策定した。

2. 魅力ある人事・給与制度の確立

- ・医療職(看護師)の給与制度を整えるため、人事労務制度基本設計書に基づき給与規程等を整備した。

3. 会計制度の整備と運用

- ・建設工事の契約を踏まえ、契約規程の一部を改正した。財務会計を基本である手作業による伝票方式の帳簿からパソコンにより集計する帳簿方式に改めた。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

1. 健全な経営基盤の確立

(1) 権限と責任の所在を明確にした組織の確立

前年度に引き続き、病院開設後必要となる組織計画を策定するため、組織規程等の一部改正や必要な検討等を行った。

(2) 経営情報システムの構築

医療情報システム導入業務作業実施計画書に基づき、医療情報システム基本計画書の策定及び調整を行った。 (再掲)

2. 支出の適正化

(1) 建築費関連

公立病院改革ガイドラインを踏まえ、整備費の抑制を考慮した設計内容とした。

(2) 人件費関連

医療職(看護師)の給与制度を整えるため、人事労務制度基本設計書に基づき給与規程等を整備した。 (再掲)

(3) 経営シミュレーションの実施

本年度においては収支シミュレーションの見直しを必要とする大きな制度変更がなかったため見直しは実施していないが、引き続き、必要に応じてのシミュレーションは行うこととする。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置

1. 実施スケジュールの確立

- ・事務執行体制の充実強化を図るため、人員体制等を整えた。

理事(H22) 3人→(H23) 5人

職員(H22) 4人→(H23) 12人 (一部再掲)

- ・東金市及び九十九里町からの貸付金・負担金を財源として実施設計業務を委託し、病院本棟ほか附属施設の実実施設計図書の作成が完了した。(実施設計業務委託金額138,960千円)

- ・実施設計と並行し、千葉大学医学部と臨床教育センターの設置に係る事務協議を進めた。

- ・看護師に関しては、看護部長の就任により募集体制を整え、全国の看護師養成施設等訪問し、奨学金制度の説明を含め、募集活動を実施した。

訪問施設総数 83施設

奨学金給付者 8人(計画15人)

奨学金受給者 8 人の内訳

平成 24 年 4 月採用予定 1 人

平成 25 年 4 月採用予定 3 人

平成 26 年 4 月採用予定 4 人 (再掲)

- ・認定看護師資格取得支援として 6 人分を公募したが、平成 23 年度内での応募はなかった。当該制度については、平成 24 年度も引き続き行うこととする。 (再掲)
- ・平成 28 年度までの「医師、看護師、コメディカル職員、事務職員」についての各採用計画を策定し、人材確保の基盤とした。 (再掲)

2. 財政負担の原則

東金市及び九十九里町からの貸付金・負担金を財源として実施設計業務を委託し、病院本棟ほか附属施設の実設計図書の作成が完了した。(実施設計業務委託金額 138,960 千円) (再掲)

3. 地域に対する広報等

- ・医療センターニュース（1 回発行）を発行するほか、新たにホームページを立ち上げ、地域に対する広報の環境を整えた。(平成 23 年度末ホームページアクセス件数 約 38,000 件)
- ・看護師募集その他については、設立団体の発行する広報も活用し、柔軟な広報活動を推進した。
- ・薬剤師会、住民団体、障害者団体等からの要請に応じて適宜に説明会を開催した。

第 5 予算(人件費の見積もりを含む)、収支計画及び資金計画

省略(財務諸表等による)

第 6 短期借入金の限度額

平成 23 年度における短期借入金はない。

第 7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

平成 23 年度においては、重要な財産の譲渡等に関する計画はない。

第 8 剰余金の使途

平成 23 年度においては、該当する剰余金はない。

第 9 料金に関する事項

平成 23 年度においては、該当する料金はない。

第 10 その他業務運営に関する重要事項(平成 23 年度)

(1) 施設及び設備に関する計画

「第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」で記載したとおり計画どおり実施した。

(2) 積立金の処分に関する計画

平成23年度においては、積立金の処分に関する計画はない。



監査報告書

平成 24 年 5 月 24 日

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター
理事長 平 澤 博 之 様

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

監 事

白 土 英 成 

私は、地方独立行政法人法第 13 条第 4 項の規定により、地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日までの第 2 期事業年度における業務の執行を監査いたしました。その結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の概要

私は、平成 23 年度監査計画に基づき、理事会に出席するほか、役員(監事を除く。以下同じ。)等から事業の報告を聴取し、重要な決裁書類を閲覧し、事務局等において業務及び財産の状況を調査しました。また、財務諸表、事業報告書及び決算報告書について、検討を加えました。

2. 監査の結果

- (1) 財務諸表(利益の処分に関する書類を除く。)は、当法人の財政状態、運営状況、キャッシュ・フローの状況及び行政サービス実施コストの状況を適正に示していると認めます。
- (2) 利益の処分に関する書類は、法令に適合していると認めます。
- (3) 決算報告書は、当法人の予算区分に従って決算の状況を正しく示していると認めます。
- (4) 事業報告書は、当法人の業務運営の状況を正しく示していると認めます。
- (5) 役員の職務執行に関し、不正の行為又は法令若しくは規程に違反する重大な事実は認められません。

以上